

防災対策の中核を担う、富士山静岡空港

1 救出・救助、消火活動部隊の集結拠点

陸路が途絶した場合に、被災していない他の都道府県の消防や警察、自衛隊、海外から空路により来る応援部隊の進出拠点になります。



2 医療活動の中核拠点

重傷者の広域搬送拠点となります。

豪雨や余震が発生しても広域医療搬送活動が行えるように、空港内にSCUを設置し、資材等をあらかじめ整備しています。



富士山静岡空港
Mt. Fuji Shizuoka Airport



3 ヘリコプターの給油・夜間駐機基地

災害時に救助・救援活動や消火活動、医療活動などで運航する応援ヘリに対し富士山静岡空港の給油施設内に備蓄している航空燃料を提供します。

また、応援ヘリの夜間駐機基地としても活用します。

4 他の都道府県への応援要員等の派遣拠点

他の都道府県において大規模な災害が発生した場合における静岡県からの応援要員等の派遣拠点として活用します。



もっと
知りたい!
Q&A



Q.なぜ富士山静岡空港が防災拠点として活用されるのですか？

A.東日本大震災では、地震や津波により道路が寸断されたため、災害発生直後にヘリコプターによる情報収集や救出・救助、物資運搬など、様々な場面で空からの支援が行われ、災害時の空港の有用性が改めて認識されました。富士山静岡空港はマグニチュード8クラスの地震に耐える耐震性、高台（標高132メートル）に位置し津波による被災の恐れが無いこと、東名高速道路や新東名高速道路及び御前崎港などを結ぶ交通網の結節点にあることなど、防災拠点として良い条件が揃っています。また県では、空港の西側には大規模な土地があり、ここを基幹的広域防災拠点として活用することで、航空機を利用した救援支援物資の受入れ、集積、荷さばきなどの物流支援、広域支援部隊（自衛隊、緊急消防援助隊等）の一時集結・ベースキャンプ、災害医療支援、災害ボランティア活動の支援など防災体制の充実・強化が図られると考えています。（回答：静岡県危機管理部）